

- はじめに 7
- 1 「日本沈没級」起きるのか 10
- 2 大地震が「起きない」国での悲劇 13
- 3 月でも起こる「深発地震」の謎 16
- 4 ゆっくり進む「普通でない」マグニチュード7 19
- 5 「地震エネルギー」どこに消えた？ 22
- 6 「不思議な地震」は南海トラフでも 25
- 7 地下を走る「妖怪」 28
- 8 巨大地震は冬に起きる？ 31
- 9 御前崎に夏だけ巨大地震「予兆」 34
- 10 「惑星直列」で天変地異は起こる？ 予言者たちが「凶事の前兆」 37
- 11 建物の倒壊 東京・神保町が危ない 40
- 12 次の「関東大震災」は意外と近い？ 三・一一が周期をリセットした疑いあり 43

- 13 地震が生み出す新たな陸地 46
- 14 首都圏のごく浅いところに「地震の巢」——安政江戸地震の新事実 49
- 15 首都大混乱！「東京地震」の恐怖——首都圏の「地震の巢」その二 52
- 16 首都圏の地震 少ないのは異例 55
- 17 あいまいな「立川断層」の危険度 58
- 18 立川断層の地震予測も外れか 穴だらけの地震年表 61
- 19 伊豆小笠原海溝でマグニチュード8か「慶長地震」が呼ぶナゾ 64
- 20 人間&社会ドラマを読み解く古地震学 67
- 21 パキスタンと日本の意外な関係 70
- 22 一回だけ起きた奇妙な大地震 73
- 23 ナマズが誇る「電場感知」——文明が能力鈍らせる 76
- 24 国内に三ヶ所の地震多発地帯 79
- 25 弱者を狙い撃ちする現代の地震 82

- 26 「極秘核実験」探知した日本の地震計 85
- 27 月の引力は地震を左右するのか 88
- 28 地震計を邪魔する「観測の敵」 91
- 29 強震を過小評価する危ない「常識」 94
- 30 「富士山噴火しない」はあり得ない 97
- 31 南海トラフ巨大地震と噴火のつながり 100
- 32 大噴火は今世紀五〜六回起きる？ 103
- 33 「緊急地震速報」と「予知」の違い 106
- 34 緊急地震速報のお粗末さ 109
- 35 ノーマークだった阪神淡路大震災の教訓 112
- 36 地震と漁獲量の不思議な関係 115
- 37 「思い込み」の前兆現象予測 118
- 38 活断層突っ切る新丹那トンネル 121

- 39 地震学者をだました活断層 124
- 40 信用されない「最大」の津波警報 127
- 41 避難者三% 津波過大予報は役所の「保身」 130
- 42 安心情報になりさがった津波警報 133
- 43 地震保険は問題だらけ？ 136
- 44 「通電火災」も適用外、火災保険の問題点 139
- 45 目の前で大きくなる津波 142
- 46 揺れが増幅、地盤の複雑構造 145
- 47 気象庁の机で寝ていた津波の電報 148
- 48 地震による新幹線事故は運次第か 151
- 49 盗まれた標石、科学の意外な落とし穴 154
- 50 事件・事故捜査に役立つ地震計 157
- 51 焼岳の群発地震、噴火の可能性も 160

- 52 九八年焼岳地震の移動、連鎖反応の可能性 163
- 53 日本特有 震度「一〇段階」のワケ 166
- 54 日本でいちばん揺れた街を超える千代田区の「怪」 169
- 55 超難題!! 日本でいちばん安全な場所とは 172
- 56 年に五万回、マグマが起こした群発地震 175
- 57 人間が起こした地震①——人間でも地震の引き金を引けるときがある 178
- 58 人間が起こした地震②——ダム地震の被害 184
- 59 人間が起こした地震③——シエールガス探掘の問題 194
- 60 人間が起こした地震④——技術の落とし穴 201
- あとがき 206